

# 目 次

## 第4回シンポジウム

三つ子の魂百まで……………	1
——人の性格や能力はいつ作られるか——	
講 師 小嶋謙四郎 小林 登	
服部 祥子 柏木 恵子	
司 会 青井 和夫	
開会のあいさつ……………	2
第I部 講師の先生方の話……………	4
1. 講師の紹介……………	4
2. 小嶋講師の話……………	6
「三つ子の魂百まで」という言葉は、式亭三馬の「浮世風呂」 にある……………	6
その第1の意味……………	7
第2の意味……………	7
魂とは何をさすか?……………	8
三歳至老……………	9
子供は育つ生命力と段階をもつ……………	10

「アタッチメント行動」とは	11
3. 小林講師の話	12
記憶にない出来事の影響とは	12
生れた時から「1歳児」だ	14
お母さんのおなかの中をみる	14
胎児にも外の音が聞える	15
新生児覚醒状態で目は見えるのか?	16
味覚もあって、甘い水が好き	17
母の匂いも知っている	17
五感は完成している	18
赤ちゃんもすでに行動言語をもっている	18
テレサーモグラフィで測ると	19
母子の相互作用の中で互いの愛着が育つ	19
母親に心の安定と喜びを与える手立てが大切	20
4. 服部講師の話	21
では、乳幼児期から思春期までは?	21
思春期の特徴は	22
蹉跌を乗り越える子と乗り越えられない子	23
経験欠乏症候群	25
直接体験と間接体験	25
直接体験の重要性	26
「遊び」と「学び」と「情緒体験」	27
アメリカの親子	28
ソ連の親子	29
ソ連には放任も多い	30

遊びのない日本	31
情緒体験も少ない	32
学びも十分でない	34
学校の成績はよいが	35
オリジナリティがない	36
日本では未成熟な子が多い	37
5. 柏木講師の話	38
子育てはむずかしい	38
「三つ子」までに人生が決定されるのではない	39
人間はアクティブであり続ける存在だ	40
素質以外に環境も重要	41
いまひとつ大切な「あるべき理想我」のイメージ	42
日本では性差がきわめて明確	44
性別のしつけと教育	44
家により年齢によって「しつけ」の効果は異なる	46
青年期の自立性と自主性	47
では、どうしたらいいのか	48
中間の休憩（この間に質問項目を票に書いて提出していただく）	
<b>第Ⅱ部 質疑と応答</b>	<b>50</b>
後援者のあいさつ	50
6. 小林講師の捕足と答え	52
赤ちゃんは多くのアタッチメントを持つことができる	53
母のアタッチメントがとぎれると、子と母の関係も断絶する	54
胎児は見ている聞いている	55

幸福な母は赤ちゃんも幸福にする	56
7. 小嶋講師の補足と答え	58
赤ちゃんの心はやわらかい	58
赤ちゃんも自分から選ぶ	59
両親のイメージは、長いエピソードの累積的な結果だ	60
子の社会性を育てるには	62
8. 服部講師の補足と答え	63
100人中の5人の不適応児と他の95人との間には	
つながりがある	63
乳幼児期の価値	64
原信頼の重要性	65
母と父：母は「包む」	67
母と父：父は「切る」	68
人間性を育てるには父母ともに不可欠	69
思春期は子供が試される時だ	70
乳幼児期は子供が根をおろす時期	71
9. 柏木講師の補足と答え	72
今の子供は自分に見切りをつけている	72
受験勉強のおそろしさ	72
遊び以外に働くことも	73
今の子供には赤ちゃんに接する機会がない	74
男の子にも同じ体験が必要	75
男の子にも家事労働を	76
母は子へのフィードバックが下手だ	77
減点主義ではだめ	78

もっと子供を多角的に評価せよ……………	79
学歴社会の中の育て方は：子も親も勉強の意味を考える……………	80

**第Ⅲ部 最後に一言……………82**

10. 学歴社会でいかに生きべきか？……………	82
義務教育では受験勉強をしないこと……………	82
まず、直接体験を……………	83
利根川氏の例、いじめっ子の例……………	84
最後の質問に……………	84
11. 直接体験を豊かにする方法は？……………	86
1人っ子か2人っ子がふえている……………	86
母親が共同で、互いに子供を家に呼んで遊ばせてみては？……………	87
直接体験の多い親からは、同じような子ができる……………	89
小学校時代には学校の成績に目をつぶること……………	90
自信をもって自分自身の子育てメニューを貫徹せよ……………	92
最後のお礼……………	93

参考文献……………	94
-----------	----